



著名ジャーナリストとの意見交換



キンバリー・バセット・コロンビア特別区長秘書官と懇談



全米日系人博物館(JANM)にて収蔵庫を見学

渡邊デモクラシー・フェローシップ！

2026年度
フェロー募集

「渡邊利三デモクラシー・フェローシップ」は、
グローバルな民主主義と日米関係の強化に取り組む
日本の次世代リーダーのネットワークを形成します。

「渡邊利三デモクラシー・フェローシップ」は、アメリカ・ロサンゼルスにある全米日系人博物館(JANM)のデモクラシーセンターによる、日本の次世代リーダーを対象としたプログラムです。2週間の訪米プログラムをはじめとする1年間の研修を通して、政府、経済界、市民社会のリーダーと交流し、民主主義の価値と実践への理解を深め、日米関係の強化を図るグローバルなリーダーを育成します。

お問い合わせ

democracyfellowship@janm.org
(渡邊デモクラシー・フェローシップ事務局)



フェローシップの詳細・
応募はこちらから

<https://www.janm.org/ja/democracy/watanabe-democracy-fellowship>

対象 | 日本の中堅・若手世代

スケジュール

2025年10月27日[月]|2026年度フェロー募集開始

11月8日[土]|オンライン説明会 #1

12月16日[火]|オンライン説明会 #2

2026年1月15日[木]|応募受付締切

4月|2026年度フェロー発表

6月19日[金]-21日[日]|オリエンテーション(東京)

9月28日[月]-10月8日[木]|訪米プログラム

2027年5月|一般向けイベント(東京)

応募資格

対象 | 民間企業、政府機関、アート、メディア、NPO / NGO、教育機関などの分野における、中堅および若手（企業や団体勤務、自営業などの別を問いません）

国籍 | 日本国籍を有する者、または日本の特別永住者

居住地 | 応募時点、または2026年6月の対面でのオリエンテーション実施時に日本在住であること

年齢 | 応募時点で45歳以下であること

職歴 | 5年以上の職務経験を有すること

英語力（目安）| TOEIC850点以上、TOEFL600点（iBT 100）以上に相当する英語力を持つこと

その他の応募要件（一部）|

- ・リーダーシップ能力を有し、今後の成長が見込めること
- ・公共の利益のために働く責任感があること
- ・民主主義、異文化、分野をまたぐコラボレーション、および日米関係に関心を持っていること
- ・政策、サステナビリティ、包括性促進、市民の政治参加推進、教育などに携わり、人々に影響を与えたり変化を起こしたりする立場や職種に現在ある、または将来就く可能性があること

応募方法

応募方法 | 応募には「応募フォーム」と、推薦者にご記入いただく「推薦フォーム」の2つのフォームの提出が必要です。どちらも渡邊デモクラシー・フェローシップのWebページからご提出いただけます。応募や参加にあたって、費用はかかりません。

応募受付期間 | 2025年10月27日[月] - 2026年1月15日[木]

選出人数 | 8～10人

フェローシップが給付するもの

- ・訪米プログラム参加のための、日米間の往復航空券（エコノミークラス）
- ・訪米プログラム中のアメリカでの宿泊施設や食事
- ・訪米プログラム中の諸経費
- ・東京で開催するオリエンテーション参加のための日本国内交通費と宿泊費（首都圏外に居住の場合）など

2025年度フェローの声

「民主主義とは組織における意思決定のシステムである以上に、自身のコミュニティ・世代を超え、他の人種や次の世代により良いものを遺す、その想いに根差した社会のパワーであると感じました。訪米中にお会いしたリーダーたちが持つ強い想いと信念の価値を、自身で体現し、組織を良い方向に導くリーダーを目指したいという想いを新たにしました」 石森孝志（三菱電機）



（上）民主党・共和党両党の議員事務所を訪問 （下）人権を擁護するNPOやNGOと懇談

渡邊デモクラシー・フェローシップ運営団体について

全米日系人博物館（JANM）

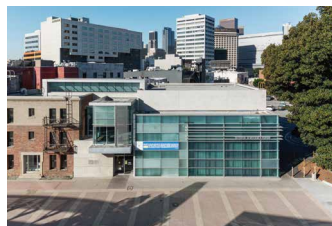
ロサンゼルスに歴史あるリトル東京地区に位置する全米日系人博物館（JANM）は、1985年に設立された非営利の博物館です。第二次世界大戦中の日系アメリカ人の強制収容から得られた教訓が忘れ去られることのないよう、日系アメリカ人の経験を共有することによって、アメリカの民族的・文化的多様性への理解と認識を促進しています。



全米日系人博物館（JANM）

ダニエル・K・イノウエ民主主義保存全米センター（デモクラシーセンター）

JANMの中にあるデモクラシーセンターは、来館者がアジア系アメリカ人の過去と現在の経験を学び、人種、アイデンティティ、社会正義、そして民主主義の形成について語り合う場です。あらゆる世代の人々が集い、民主主義について学ぶことで、人々の意識の変化や文化の尊重、政治への市民参加を促進していきます。



デモクラシーセンター

渡邊利三デモクラシー・フェローシップは、渡邊利三氏（公益財団法人 渡邊財団名誉会長）からのご寄附によって実施しています。また、モーリーン&マイク・マンスフィールド財団が、ワシントンDCにおける事業実施パートナーとして関わっています。